くるみ－来未
事後評価用アンケート結果

■本アンケートの目的

①Pecs事業における3年間の事業評価

②来年度以降の事業活動検討のため

■実施時期　2022年12月～2023年1月

■対象者　活動参加者（当事者/家族/支援者）

■配布・回収数　回収37部/配布75部（回収率49%）

＜アンケート結果の総括＞

・くるみのイベントや活動に参加した人の**多くが「安心感」と「信頼感」を持ち、また参加したい**と考えている。
（2回以上参加している人に限っては、100%の方が「安心感」と「信頼感」を持っている）

・上記の傾向は、属性による違いは見られず、**立場が違っても安心して活動に参加**して頂くことができた。

・老若男女問わず、くるみのイベントに参加することによって**好影響があった**、の声がたくさん届いている。

・短期アウトカム1「当事者・家族が参加しやすいイベントが定期的に行われ、支援対象者にとって安心して参加できる居場所となる」は、実施回数／参加者数／満足度の面で、想定以上の成果をあげることができた。

・一方で、以下①②のような指摘も複数名からあり、③と合わせて来年度以降の運営課題である。

①運営者／スタッフへの**業務の偏りと負担感**

②がんばりすぎて、**個人生活とのバランス**が取れていないのではないか

③継続的な**資金調達手段**が確立できていない

＜質問項目＞

くるみのおうち事業検討用アンケート (google.com)

１．あなたにとって、くるみとはどんな場所ですか？

２．あなたにとって、くるみはどのくらい安心できる居場所になっていますか？（７段階）

３．２のように感じる理由やきっかけがあれば教えてください。

４．くるみ（代表やスタッフ）は、信頼できる存在ですか？（７段階）

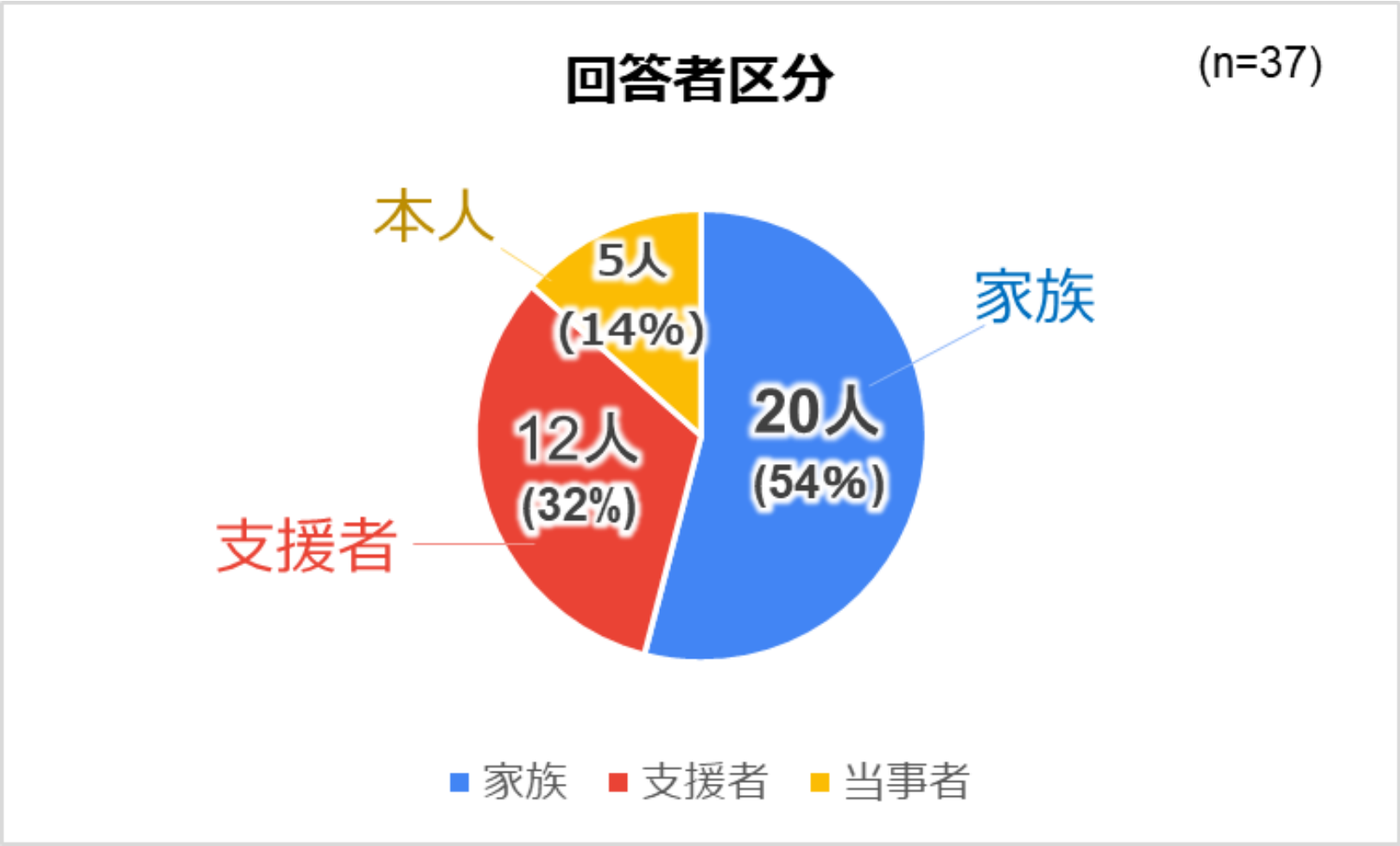
５．４のように感じる理由やきっかけがあれば教えてください。

６．くるみの事業活動に参加して、あなたや一緒に参加した家族が何か影響を受けたことはありますか？

７．くるみのイベントや活動に参加して、印象的だったことがあれば教えてください。

８．くるみの事業運営、イベント等について、もっとこうだったらいいのに、と思うことがあれば教えてください。

９．その他、コメントやメッセージなど（もしあれば）



回答者の属性は、家族が54%、支援者が32%、当事者が14%であった。

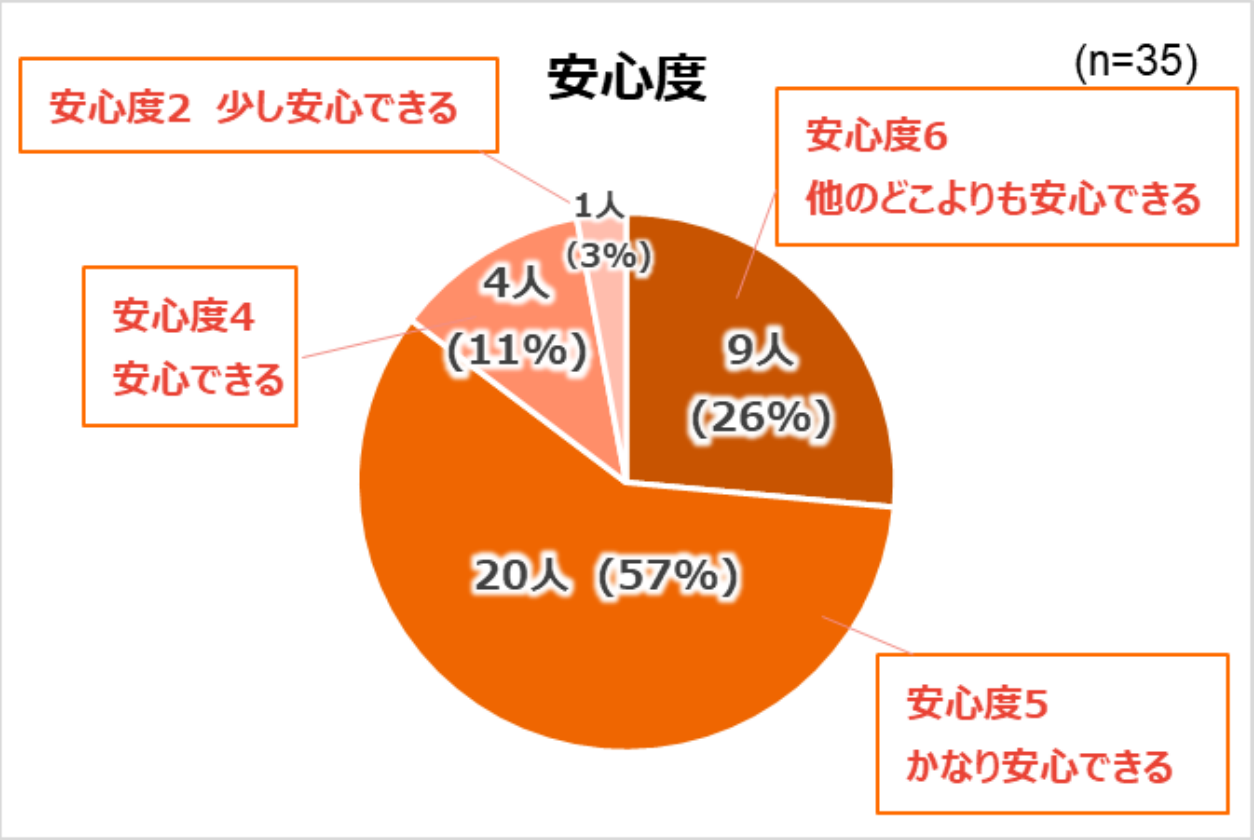
1. あなたにとって、くるみとはどんな場所ですか？

くるみは、居心地のいい場所。無理をせず、自分らしくいられる場所。居心地のよさは、代表やスタッフのお人柄で過ごしやすい雰囲気を作ってくれているおかげだと思う。
居心地が良い場所。無くなったら、とても悲しいです。
なくてはならない場所です。解散はショッキングですが、運営側の事情があるならそれを優先してもらいたいです。
くるみが存在してることで安心できる。
（なくなってしまうことを想像すると、）悲しい気持ち、淋しい気持ち
生きがい。人生かけて理想を追求する舞台。自分が救われるための場所。
交流・意見交換の場
今、この社会は、解決が容易でない、偏見と暴力があふれていて、普通に生きていくことがとても難しくなっています。くるみは、その中で、灯台、オアシスの役割を担っているのではと思います。
安心して話せて支えになっている、今の生活に欠かせない存在。
温かく安心でき相談もできる場所で理事長はじめ皆さんお仲間のように感じる場所でもあります。もし解散になったら少ない居場所がなくなる不安や悲しみがあります。
こども、おとな、障がいのあるなしに関わらず、お互いが対等に尊重しあえる貴重な場であると思います。
マラソンに例えると給水所、山に例えると途中の山小屋です。
支えてくれる場
一緒に成長していく場、助け合っていく場
なくてはならない場所！
障がいのある人を持つ家族と行政が行う施策の隙間をしっかりつなぎとめる役割を担う場所。
困っている人、困っていない人でも、受け止めてくれるところ。誰でも居心地の良いところ。
家でも仕事場でもない第三の居場所で、損得勘定や経済合理性と無縁でいられる心理的安全性の高い居場所です。
自分が前向きになれる場所
居場所を必要としている人たちを受け入れてくれるところ。
第2の家
行政が向き合わず、支援を後回しにしている人々を救う場と思っています。高齢者福祉と比べ断然遅れていると思われる分野に理事長が果敢に斬り込んで行っている。
安心できる場所
生きづらさを抱えた人に寄り添う空間
自分の個性を認め、他人の個性も認め合える客観的に分析できる居心地の良いコミニュティ。
誰にとっても居心地のいい場所(そう言う場所にしようと努めている場所)
様々な個性のある人たちがその人らしくいられる場所だと思います。
かけがえのない、安心できる、あたたかな場所です。くるみの存在が、今、ここで生活し続ける理由になっています。

- **「かけがえのない、なくてはならない場所！」という強い思いを表明してくれた方が5名。**
- **「安心できる場所」、「自分らしく居られる場所」、「個性をみとめあえる場所」などの回答が多かった。**

２．あなたにとって、くるみはどのくらい安心できる居場所になっていますか？（７段階）

安心度０（まったく安心できない）	0
安心度１（あまり安心できない）	0
安心度２（少し安心できる）	1
安心度３（ふつう）	0
安心度４（安心できる）	4
安心度５（かなり安心できる）	20
安心度６（他のどこよりも安心できる）	9
わからない	1
計	35



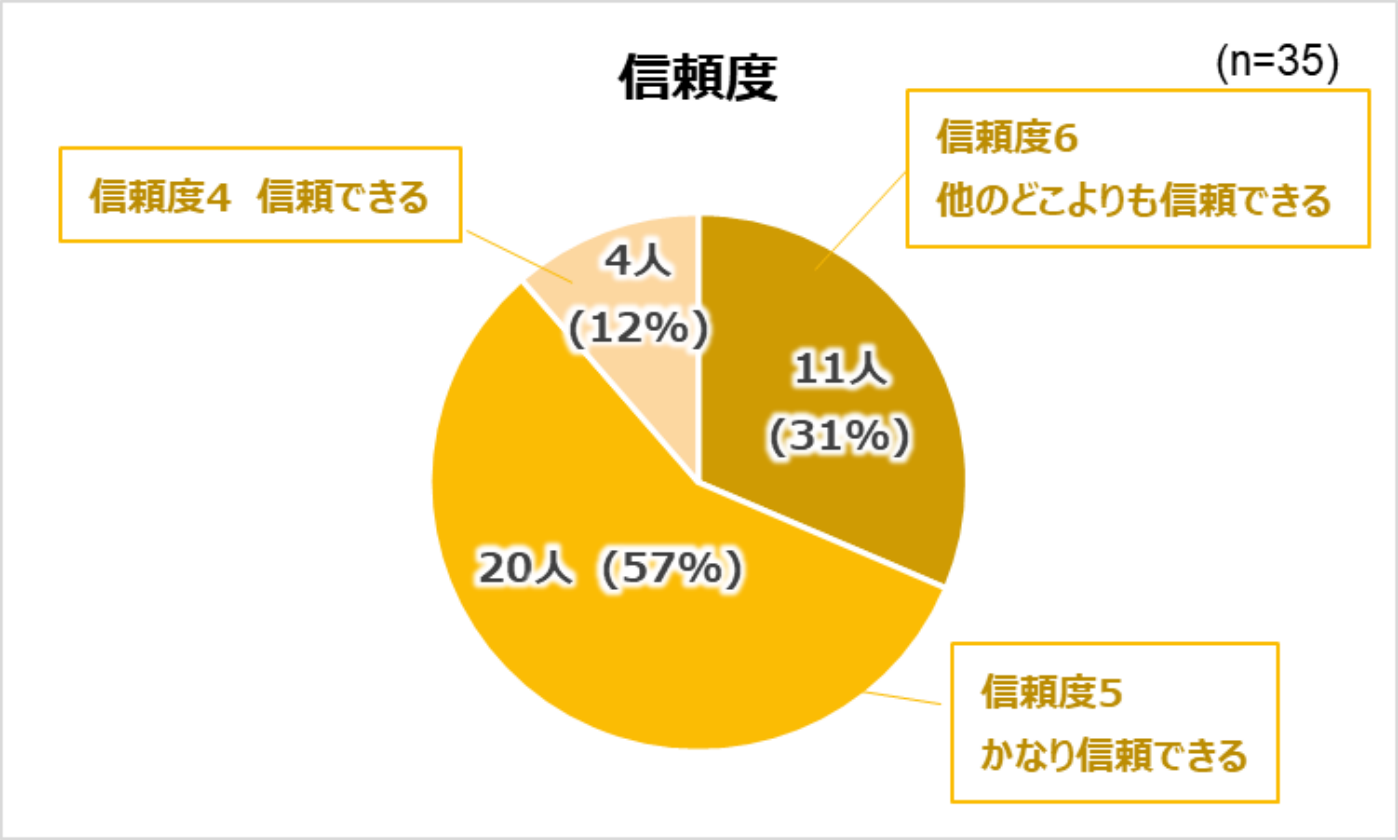
- 8割以上の方が「かなり安心」「他のどこよりも安心」と回答。
- 属性によるバラつきはなかった。立場や属性にかかわらず、心理的安全性の高い居場所となっている。

３． ２のように感じる理由やきっかけがあれば教えてください。

くるみのおうちは心からくつろげる場所です。 自身の団体で使わせていただいたときに参加者の皆さんもくつろいでいる様子でした。
他愛のない会話を皆で出来るから。
一人っ子でもあり、家庭の事情で家族というものを味わえない息子にとっては、自分の家のように、そして家族のように一緒に育ててもらっていてると感じるからです。
代表やスタッフの方と語り合うと自分の芯と重なる部分が多いと実感できるから。
当事者、家族共に、気兼ねなく安心して参加できる数少ない居場所であるから。
自分の感覚で運営しているので、自分にとっては他のどこよりも安心できる。
他がどのような場所があるかは不明なのですが、かなり信頼できる場所だと思います。
私と息子にとって、安心して、お話ができる場所になっています。
同じ思いを抱えている仲間に出会えて、いろいろ教わることができる。
理事長や事務局の方のご経験なども先輩の親御さんとして尊敬できる方々なので。息子を温かく受け入れてくださるのも感謝しているので。
「くるみのおうち」に関わるみんなが、事業の理念や意義を理解していると感じます。
息子についての情報がほぼない状況の中、そのままの息子を自然に受け入れていただいたことや、家族がそれぞれの参加の仕方で参加させていただけたこと。
助けて貰ったから
発達障害の子供を抱える家族の立場をよく理解しているから
関わっている人が良くて、ちょっかいをかけてくるような人がいないから。
質的な面で、他ではできていないきめ細かなサービスを数多く積極的に取り込んでそれを広めていこうとしているから。
スタッフの言葉、イベントでの方針。実際誰をも拒まず迎い入れてくれているから。
くるみ運営のみなさんやイベント参加者のみなさんと旧知の仲であること。また、初対面の方がいたとしてもくるみ運営の方々の丁寧な配慮により心理的ハードルが下がること。
日常的に利用しているわけではないけれど、何かあったら頼りにしたい、そんな場所です。
毎回イベントの事前案内、当日の進行がいつも丁寧に行われており、ここのスタッフの方にならわからないことがあっても質問がしやすい、頼りやすい、という雰囲気があり、そこに安心感を覚えました。
素の自分で居られる
利用する皆さんが安心できる場を提供できるように心掛けています。
スタッフがあたたかい、　個人を否定しない
子供の居場所になっています
自分と歳が近い人や、似たような悩みで悩んでる人同士で相談し合える場があるから。
何度も過ごす中で、嫌だと思うことがなかったため。
アウトドアイベントの参加が主になっていますが、みなさん（参加者、スタッフ、ボランティア）がそれぞれの立場でイベントを心から楽しんでいらっしゃる様子が素晴らしいと思います。
きっかけ…難しいです💧最初に活動に参加させていただいた時から、いつも「どこよりも安心できる」と感じております。

4. くるみ（代表やスタッフ）は、信頼できる存在ですか？ （７段階）

信頼度０（まったく信頼できない）	0
信頼度１（あまり信頼できない）	0
信頼度２（少し信頼できる）	0
信頼度３（ふつう）	0
信頼度４（信頼できる）	4
信頼度５（かなり信頼できる）	20
信頼度６（他のどこよりも信頼できる）	11
わからない	0
計	35



- 9割の方が、「かなり信頼できる」「他のどこよりも信頼できる」と回答。
- 「来たことはないけど、信頼できそう」という推測や、口コミによる信頼感の情勢がなされている。
  「くるみの人たちやその運営は信頼できる」というイメージ形成に成功している。

５．４のように感じる理由やきっかけがあれば教えてください。

いつも温かで楽しい事業を企画してくださり、素晴らしいと思います。運営の負担感が半端ないはずですが、なかなかお手伝いできず、申し訳なく思います。
くるみに対する熱意が伝わってくるから。
息子にとってとても近い存在で、長い間寄り添っていただいているからです。
代表やスタッフに話を聞いてもらうと自分の課題や立ち位置など冷静に振り替えることができる。
理事長はじめ関わる方々に誠実な人が多いと思うから。
多くの場面で、多くの方々が、運営において助けて下さっているため。
安心してお話できる場所だと思います。
安心して、相談がてきる場所だと思います。
とにかく苦労している日々に、頼ろう！思い付くところ。
息子の事で悩んでいる時にわざわざお時間を作ってくださり親身に相談に乗ってくださいましたし、その時にくるみの皆さんなら親身になってくださると信頼しておりましたので。
生活上の問題で行き場がなく困っている青年に真摯に向き合い、支援に尽力されている姿を見て感銘を受けました。
お互いの発言や行動に対して想像力を働かせて、お互いを理解しようしながら過ごし中で、その環境をアレンジし作り出す代表、スタッフさん、協力者の方々に信頼感が持てた。
助けて貰うには事情を知らないと助けようがないから
発達障害の子供を抱える家族の立場をよく理解しているから
関わっている人が良くて、ちょっかいをかけてくるような人がいないから。
くるみのサービスを利用したいと考える家族のニーズを施策に取り込み、誠実に対応し実行しているから。
いつもです
応対は誠実ですし、何かと気にかけてくださるので信頼しています。何かあったら相談したいし相談しやすい存在ではありますが、多忙でいらっしゃるのでタイミングには気を遣います。
何かあった時や客観的な意見が欲しい時には是非相談したいと思う存在です
上記と重複しますが、毎回案内、進行がきちんと行われること。あと、定期的なニューズレターの発行で活動内容がわかることも挙げられます。
昔から知り合っているから
くるみのコンセプトのゆるく、楽しく　出来る人が出来るときに出来るだけ　などは共感する方が多いのではないかと思います。　構えなくともお隣さん感覚で参加できそうです。
こちらも、信頼できる存在であるようにしたい（運営スタッフ）
青年の受け入れ
障害の理解があり、地域の居場所作りを目指して多様な活動を行っているから
困った時にすぐ相談できる。悩みも真摯に向き合って聞いてくれるから。
うちのプログラムの参加者のお父さんとして関わらせていただくことが多いのですが、いつもお子さんの考え方を尊重しながら接していらっしゃること、いつもしっかりと私たちにフィードバックしてくださること、など
いつも、細やかな気配りや、あたたかいお心遣い、お声かけをいただき、助けていただいてばかりで恐縮しております！誠実さと優しさに、いつもいつも救われています。

６．くるみの事業活動に参加して、あなたや一緒に参加した家族が何か影響を受けたことはありますか？

様々なイベントに参加させてもらい、色んな人と関われる楽しさを感じ、イベントに積極的に参加するようになった。
息子の言葉を借りると、「くるみがあって良かった、くるみがなかったらどうなっていたか」 本人にとっても親の私にとっても、くるみの活動に参加する事で、温かい支えや繋がりを頂き、自尊心の低い子供にとっては、明日への生きる気力をもらえます。
娘が、ごく自然に一人でもくるみの活動に参加すること。
障害ある子供が、参加イベントを楽しんでいる姿を見て、他の当事者や家族のためにも、くるみの活動に協力したいと思うようになった
ここ数年、息子の「居場所づくり」にはなっていなかったが、またくるみの活動を楽しみにしている（バスハイクなど、楽しみにしていた）。ターゲットに合わせて事業を作ることは大切だが、必要性があるものは「どっしり構えてやり続ける」姿勢も大切。
様々なキャラクターの方がいらっしゃることを私が再確認しました。
息子は「上平間に行きます」とよくいっています。私は、いろいろと、懇談させていただくうちに、新たな知識を得られています。
こどもがピザ作りに参加して少し年上の人達と関われたり、その人達の姿に少し先の自分のイメージが作れたようだ。
黒川のイベントに参加させて頂き息子が自然の中で物凄く喜び楽しませて頂いたからです。また行きたいとすぐに言いました。息子はやっぱり自然の中が好きな事もわかりました。
野外活動に参加させてもらいました。普段は福祉の相談業務をしていますが、地域作りを行なっていく上で、色々な人達や地域資源と繋がることは大事とあらためて感じました。
オンラインの勉強会とプログラミング教室に参加。家族以外の人達とつながれたことで、仲間がいることを実感し、孤立感が和らいだ気がします。
悟り開いた
それぞれの家族のそれぞれの悩みを知ることで、子供との接し方の勉強になる
黒川の野外活動センターで"ピザ焼き大会"に参加した時「くるみのイベントならば安心して参加できまた他の団体が実施するイベントよりも満足度が高い」とのうわさを知って初めて参加したという家族が複数あって驚いた。
娘は幼児期からくるみのアウトドアに参加しているからか、年長者含む初対面の方々とのコミュニケーションに抵抗がなくなっています。また、くるみ運営の方々を通して、大人というものは信頼できる存在なんだと感じるようになっている気がします。
みんなの学校の上映会では、皆でインクルーシブについて考えるきっかけになりました。
身近で育児に悩んでいる友人にこういう場所があるよ、と紹介できました。 また、研修会に参加して、日常生活における困りごとについて知ることができ、自分が経験していないこと、知らないことへの決めつけをしないように心がける機会をもらえました。
くるみのおうちのペンキ塗りなどは自分たちで作ったおうち　と親近感がわくと思い、素晴らしいと思いました。
関わっている青年達の成長が著しいです。 育った環境は苦しい状況であったと思いますが、そこから抜け出して自分らしく生きられるように彼らなりに考えて実践しているのを感じて嬉しいです。
子どもが、活動に参加し、自身の障害を受け入れ前を向けました
くるみのイベントを企画開催するにあたり、主体的に動くようになったことを家族が驚いていた。私自身もそれを実感でき、今までの自分から変われた気がして嬉しかった。
イベントなどに参加する中で、発達障害に偏見を持つ知人などに対して、堂々と意見が言えるようになった
参加者の方に対する接し方（親しみを持ちつつ、とても丁寧であること）は参考にさせていただいております。なかなかうまくできませんが。
初めての人や場所が苦手な特性をもつ子供ですが、くるみの活動には、安心して参加する事ができています。その積み重ねのおかげで、日々の生活の中や、学校生活の中でも、新しいことに、チャレンジしていくことができてきました。わからない事＝苦手な事→やらない、やりたくない、という図式になりがちなのですが、わからないけど、くるみのイベントなら、くるみの皆さんがいるなら、行ってみたい、やってみたい、という、プラスの流れになっています。

７．くるみのイベントや活動に参加して、印象的だったことがあれば教えてください。

どれも印象的でしたが、個人的にはドラム缶ピザ作りです。
どのイベントも異年齢交流がしっかり出来ていて、昔、本家に親戚一同が集まったお正月のような、大人も子供もみんなが良い時間を過ごせるところが、 他では経験できない事だと思います。
年数を重ねるごとに青年スタッフの成長が感じられること。みんなに会うたびに嬉しくなります。
映画上映会（含む茶話会）、保護者勉強会
バスハイクは、とてもたのしかった。コロナで、遠出がてきなくなっていたので、助かりました。カレーライスまた、食べたいです。
楽しむところ、気を付けること、注意すべきことのメリハリがあってよかった。
息子が喜んだ事や親の講演会でも皆様も悩んで苦しんでいたりしている事をお聞きできて勉強になりました。
野外活動のみの参加でしたが、雄大な自然からみれば人間は皆一緒なんだなーと感じます。 あと、普段できない色々な事にみんなでチャレンジしたり共有する事も絆が深まると感じました。
プログラミング講座、オンラインで参加しました。できた時は思わずハイタッチして笑いが起きていました。お互いを認め合う時間がある持てたように思います。
バス旅行で思い通りに動けなかった（道が混雑し、休憩スポットに立ち寄ることができなくなったことを悔やむスタッフの気持ち）
すべてです。
インターンで関わってくださった大学生の子たちが、こんなにくるみにコミットして（のめり込んで）活動してくれるんだ、というのは毎年驚きです。
子供と一緒に参加したパン作りで、皆さんのお気遣いがとても嬉しかったです。
繰り返しになりますが、各種事業、イベントの事前案内と当日進行の丁寧さ。
走り回るお子さんと、それを見守るお母様を横目に笑っていた青年達を本気で叱っていた理事長の姿が忘れられません。 安心して参加してもらいたいという強い気持ちを感じられました。
参加者の皆さんに寄り添った運営をされているところ
野外活動で、大人も子供も素敵な笑顔で楽しんでいたこと
人生フルーツと言った映画上映会。
明るい
プログラムの最初と最後に必ず1人ずつ話をする時間があること、その中で、みんなが一人ひとりの話を、最後までしっかり聴こうとしている雰囲気が私はとても好きです。
どのイベントにおいても、特性に配慮してくださり、いつも助けていただいており、感謝しております。

８．くるみの事業運営、イベント等について、もっとこうだったらいいのに、と思うことがあれば教えてください。

息子さんがいてくれたからくるみがあって、今のご縁があります。息子さんの喜ぶ事業実施を希望します。
早くコロナが終息して、コロナ対策を考えず大々的にイベントが出来たらいいなと思います。
代表のお二人の負担がも少し軽くなると良いかも。
コロナ禍過ぎたら、３年難しかった事や延期した事などできたらと思います。
後身の育成が永遠の課題になりそう
私自身が、困っているのですが、家事のスキルをあげる講座があればと思います。
プログラミング講座に関しては、我が家はこれ以上は理解が難しいと思っていますが、興味のある子にはきっかけとサポートがあることで、世界が広がると思います。 母と息子二人で行くにはちょっと難しいけれど、企画する代表、スタッフさんが無理のないお出かけ企画があったら参加したいです。
コロナ前ぐらいの大勢で楽しめるような活動がしたい✨
コロナ前のように人数が多く集まれるようになると良い。
満足度の高いサービスの提供には、運営者の熱意のほかに人手や資金がそれなりに必要。 内容を拡充する場合には、こうした事業資源を継続して確保することと、この分野の社会福祉活動への行政の積極的支援に加え、関連諸団体での連携および社会への一層の啓蒙と理解が極めて重要である。
事業運営についてもイベントについても、今のステージではできることを最大限（以上に？）やってくださっていると感じています。今後もくるみの成長に合わせてできることをみんなで考えていけたらと思っています。
くるみのおうちが一般道に面した場所だったり、広い庭を有する所であったなら、このコロナ禍でももっと活動を広げる事が出来ていたと思います。 近隣への配慮を気にしないといけない場所であったのが足かせにはなっておりました。
その場だけの　ニックネームでもいいので　お互いに声掛けしやすいと良いと思います
個人的には、くるみのイベントに初めて参加させていただいた、きっかけの、思い出の高尾山、またご一緒できたら嬉しいです！

９．その他、コメントやメッセージなど（もしあれば）

くるみに携わっていく中で色んな人と関わることができ、とても楽しいです。これからもイベントなどがあれば是非参加したいので、よろしくお願いします！
くるみのおうちが立ち上がってすぐコロナになり、たくさんの制限の中の3年を本当に色々頑張っていただいたなと感じています。
この安心できる場所を維持し、運営を続けていくことがどれ程大変なことか….。思いめぐらす度に頭が下がります。本当にありがとうございます。
コロナ禍過ぎたら、３年難しかった事や延期した事などできたらと思います。引き続きよろしくお願いします。
後身の育成が永遠の課題になりそうほどほどにがんばりましょう
何としても活動を続けてほしい。こどもが大きくなるにつれて、もっと密に関わらせていただきたいと考えています。
いつもありがとうございます。イベントの際も一生懸命に息子の相手をしてくださり大変感謝致しました。
我が家はくるみが発信してくださるパワーのおかげで、家族間で意見交換したり、それぞれの立場で何を大事にしていくかを考える機会を持つことができています。
俺と同じように苦しんでる人が居たら手を差し伸ばして察し行動して助けられるような存在でありたい
本当にお疲れ様でした。運営のみなさまのおかげで、くるみでしか味わえない楽しくてあたたかい時間をたくさん過ごすことができました。来年も無理せず楽しくやっていきましょう！
「明日解散します」と言われたら、事情を伺ってくるみさんの事業を継続させるために自分がやれることがあるならばそれをやるだろうなと思います。
親として見た場合、理事長、スタッフが一生懸命　真剣に取り組んでるのを見て、自分の生活を犠牲にしているのを見ると心配になります。
何か収益に繋がる事を青年達を巻き込んでやっていきたいです。
地域に根づいた、皆が集まってくる居場所作りを、これからも目指してください
3月までに遊びに行かせてください。
お互いの強みを活かして、これからも一緒に活動させていただきたいと思います。遅くなって申し訳ありませんでした。
いつも大変お世話になり、どうもありがとうございます！とにかく、いつもいつも感謝しかありません！！本当にありがとうございます！！ いつも参加者みんなの事を最優先に考えてくださる、くるみの皆さま。ご多忙極める毎日、くるみの皆さんのご体調が心配です。どうかご自身も大切に、ご自愛くださいませ！